



運動会 ～みんなが『ひとつ』になった～

数日前に出されていた傘マークを吹き飛ばし、さわやかな秋空のもとで運動会を開催することができました。

運動会の日は、毎年目頭が熱くなる思いをします。しかも、毎年異なった感動が、そうさせてしまうのです。2020年は、コロナ対応が始まり、夏休みが縮小され、校舎が工事中という「制約」「がまん」のなかで、大人を元気づける姿に感動しました。2021年もマスクをしたままの運動会でしたが、残暑対策で10月に変更していたことにより暑さとのたたかいは軽減されました。この年は、何人もの6年生が涙を流す運動会でした。本人たちも「なんで泣いているのかわからない」と言いました。全力を出したこと、その感激が身体に現れたのでしょう。2022年は、学級閉鎖で10月下旬に延期となる異例の年でしたが、練習中から児童がマイクを持って指揮する場面がたくさんあり、当日に立派な演技を成功させたこと、全校児童での応援合戦を復活させたことで成長できた姿に感動しました。

そして2023年、今年もまったく異なることに感動を覚えました。当日はPTA広報委員の方々にたくさんの写真を撮影していただきましたが、競技する姿は委員さんに任せて、テントで応援する姿をできる限り写真に収めたいと思っていました。ところが、集団演技中は、そのことを忘れて演技に夢中になってしまいがちです。でも今年は、そのことを忘れさせない児童の姿があったのです。1,2年生の演技中には、テント全体から手拍子が起こり、全校児童すべてが参加しているかのような光景がありました。(写真左) 長年運動会を見てきましたが、こんなことは初めてかもしれません。「この一体感はなんだ!」と驚くばかりでした。また、5,6年生の演技中には、うってかわって静かに、瞬きもせず惚れ惚れしながら見入る姿がありました。時には感嘆の声が漏れ聞こえてきました。(写真右) これらの姿、とくに3,4年生は、「自分が歩んできた道をいとおしく思い、これから自分が歩み行く道にあこがれを抱く」ような姿を見せたのです。こうして異学年がつながり、見る人を感動させる、そんな素晴らしい時間をともに過ごせた幸せを感じました。

この期間に果たした成長を、次のチャレンジへのエネルギーに変え、学校生活を歩んでほしいと願います。保護者・地域住民のみなさまのあたたかい声援・見守りが大きな力になることは言うまでもありません。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



1,2年 演技中



5,6年 演技中

11月 学校行事予定

1日 (水)	校内人権月間(~12/4)	17日 (金)	修学旅行(~18日)
2日 (木)	マラソン大会	20日 (月)	6年振替休業
3日 (金)	文化の日	21日 (火)	3年校外学習
6日 (月)	希望の会の日 学年費口座振替(全学年)	23日 (木)	勤労感謝の日
7日 (火)	5年校外学習	24日 (金)	PTA実行委員会
8日 (水)	クラブ活動	28日 (火)	ぽっかぽか集会(人権を考える)
9日 (木)	高島市音楽会(4年)	29日 (水)	クラブ活動 学校運営協議会
10日 (金)	4年校外学習 湖西中体験入学	30日 (木)	6年生ひびきあい活動
15日 (水)	委員会活動 大師山ボランティアサークルのみなさま⇒		

9月30日には、PTA環境整備作業で校舎内外を美しくしていただきました。運動会直前の11日(火)には、大師山ボランティアサークルのみなさまが、運動場まわりの除草をしてくださいました。雨が激しく降るなか、南小・北小に分かれての活動でした。このように多くの方に支えられて運動会が成功できたことを忘れてはなりません。



子どもにつけたい力 ～情報を分析する・論理的に表現する～

4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果について校内で分析を進め、調査を受けた6年生には10月に個人票を配付しました。この結果から本校で明らかになった傾向についてお知らせします。ただし、この調査は学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。調査の正誤だけに惑わされずに、傾向を知ること、対策を考えることが重要だと考えています。そのため、調査対象は6年生のみですが、学校全体の傾向を表している面もある(昨年度とは異なる面があるのも事実ですが)と考え、学校だよりにてお知らせします。

国語科

基礎的な知識(漢字の書き)にやや弱さがあり、単なる漢字の読む・書くに比べて、「実際の文のなかで正しく使う」ことに課題が見られました。「話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと」の中心を捉える」「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」「敬語について理解する」といった点は優れています。ただ、「原因と結果など、情報と情報との関係付けの仕方、図などの情報から自分の考えを表現する(書く)」といったところに課題が見られました。

算数科

数に関する基礎・基本はおおよそ理解できています。「日常生活の場面で小数のたし算やかけ算を使って、求め方と答えを式や言葉を用いて書き、条件に当てはまるかどうかを判断する」「二つの数量の関係について、表のなかの数字を使って比例の関係ではないことを説明する」ことには優れていますが、「たし算とかけ算の混合した整数の計算をする」「図形の性質を生かして、高さ・底辺・面積の関係をもとに比較し、その理由を言葉や数を使って記述する」ことには課題が見られました。

子どもの学力(どうすれば克服できる?)

学習や生活の実態をつかむための「児童質問紙」から、本校児童の意識を読み取ります。

○優れている点は…○

- タブレットなどのICT機器を、よく使用している
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う
- 今住んでいる地域の行事に参加している
- 自分で計画を立てて勉強をしている
- 学校に行くのは楽しい
- 友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれている



●課題が見られる点は…●

- 算数の勉強は好き(ではない)
- 土日など学校が休みの日に、勉強をする時間(が短い)
- 読書は好き(ではない)
- 学校の授業以外で、英語を使う機会があった(なかった)
- 将来、積極的に英語を使うような生活・職業を希望する(しない)
- 同じくらの時刻に寝ている(いない)



これらの実態から、どのような手立てが必要かについて職員で協議し、実践していきます。

- ◆国語科：正しい日本語に触れさせるため、日常的に読書ができる環境を作る。(図書室を利用した授業、「読書のあゆみ」を利用し友達の好きな本を知る、読み聞かせや読書に浸る時間の増加)
 - ◆算数科：授業の中で既習事項をつなげる授業を工夫する。解き方のヒント、公式などを掲示しながら、問題を繰り返し定着させる。
 - ◆外国語科：外国語指導助手(ザック先生)に物怖じせずに話しかける。関わることで英語に興味を持つ、知っている歌を英語で聞く等の環境を作る。
 - ◆規則正しい生活の大切さをひびきあい活動等で取り上げ、共有する。スマホやゲームが脳や身体に与える影響の怖さを知って付き合う。
 - ◆自分の将来に憧れを持てるよう、いろんな人の話を聞いたり、社会貢献への自覚を促す体験を増やし自信をつけさせたりする。…
- など、取り組むべきことを共通理解し、学年に応じた取組を進めていきます。